

あなたが今までに聴いた生の演奏<sup>(注)</sup>で、一番心に残る演奏はどのようなものでしたか。具体的に説明して下さい。そして、その経験はあなたが教師になった時、どのように活かされると思いますか。具体的に述べて下さい。

(注) ここでの生の演奏とは、CD、DVD、インターネット配信などの音楽を再生したものではなく、実際に演奏することを意味しています。劇場やホールのみでなく、学校、家庭、路上、ライブハウスなど様々な場所での演奏が含まれます。

私が今までに聴いた生の演奏で一番心に残っているのは、中学時代にプロの演奏者を招いて学校の音楽室で聴いた、バイオリンとピアノによる演奏です。

この演奏では幾度となく、まるでこれから歌い出すかのように演奏者が素早く息を吸う音が聴こえ、音楽とは生身の人間によって生み出されるものであると実感しました。また生演奏を間近に聴くことで、同じ曲は何度聴けても同じ演奏は二度と聴けないという、生演奏のはかなく切ない側面を垣間見ることができました。

さらに、演奏の音が一瞬鳴りやんだ時、唾を飲み込むことすら憚られるような張りつめた静寂さに、強い緊張感が伝わってきました。休符には言葉で表現できない強いエネルギーが蓄えられていることを、改めて感じた瞬間でした。そして、渾身込めた心の叫びのように迫りくる音色で曲が終わった時のことです。誰一人として体を動かさず、水を打ったような静けさが音楽室を覆い、少し間をおいて、聴衆が皆笑顔で拍手をし始めました。この時私は初めて、生演奏による音の余韻や、演奏者と聴衆が一体となった生演奏の会場ならではの空気を感じ、何とも言えない高揚感を覚えました。

私が教師になったら、自ら音楽室で演奏を披露する機会を設けたいと思います。音楽室のような狭い空間での生演奏だからこそ、演奏者と聴衆とで作り上げる一体感、高揚感や緊張感に出会えると思うからです。また、教師自身が演奏することで、演奏者をより身近に感じられると思います。